汗ふきふき昔ながらの田植え

山崎・谷戸の会が田んぼ17枚植える

小振りのはしごのような定規をあてながら、間隔が狭まらないよう、ときどき列が曲がったり、汗をふきふき苗を植えていく人たち。

6月4日、鎌倉市山崎の鎌倉中央公園の田んぼで田植えが行われた＝写真。

「山崎・谷戸の会」（吉野俊雄会長・会員約4百人）の田んぼ班約25人が朝から代かき、苗取り、田植えなどの作業をした。

田んぼは同公園の東側にあり段々になっていて、大きさや形もさまざまなものが17枚ほどある。昔ながらの作業で稲つくりを行っている。4月中旬に苗代をつくり、うるち米ともち米の苗を半分ずつ植えた。もちつきなどに好評という。

農薬などを使わないので、今後、雑草取りを3回ほど行う。11月末に収穫祭を行い、できた米は児童・高齢者施設、社会福祉協議会などの施設に配布している。

同会は、2004年の公園の全面開園と同時に、それまで活動していた10の市民活動団体の有志が集まり発足した。田んぼ・畑・雑木林管理・農芸・自然遊び・生態系保全・植物育成の7班に分かれて活動を行っている。田んぼのそばの野原では子どもたちがはだしで走りまわっていた。

図書館ひと筋 無報酬の百年史

ひと

和田安弘（わだ やすひろ）さん

B5判、422ページ。1・5キロ、ずっしり重い。中身の濃い、100年史の中で、戦後の図書館史を担当した。

「100年史は記念事業の『目玉』の一つ。大変な仕事だと覚悟していたが、これほどたくさん書かなければならないとは思っていなかった。流行りの言葉でいえば想定外でしたね」

読書が趣味。早稲田大学在学中、学生運動に参加しながら、本を読み、司書の資格をとった。1968年に大学卒業後、川崎市職員。図書館に配属され、幸図書館を最後に定年退職するまで、市内の図書館で司書を勤めた。

「口下手で、人との接触は嫌い。サービスが基本の職場だったから、仕事を始めてすぐに司書はとんでもない勘違いだったなと思ったりした。36年間を無事勤め終えてから、図書館ひと筋だったなと考えると、やはり自分に向いていたのかなと思い直した」

10年前、職場結婚だった奥さんと退職金を出し合い、鎌倉市笛田に新居を構えた。仕事を通じて知り合いの鎌倉市図書館職員から「市民として手伝って」と声をかけられ、100周年記念事業の準備委員を引き受けた。準備期間は子供読書推進計画の策定で委員たちと議論した。

2009年4月、実行委員会が発足。委員長に就いた。予算上、完全原稿にして印刷業者に渡すシステムで、書く内容から体裁まで一切が担当者に振りかかってきた。資料探しの経験はない。長い文章を書いたこともない。

「ないないづくし。家で飽きると、喫茶店で小さいパソコンを動かしたり、問題にぶつかったりの毎日。でも評価されるかは別として、予算より100万円安く仕上がった。多少は川崎時代の経験が生かせたと思う。多くの人に見てほしい」と振り返った。

ボランティアの仕事で、無報酬。交通費も出ない。「好きな本も読めず、辛く、苦痛だった。妻もよくやるわと思っていたでしょうね」

来年3月末まで子どもを3回ずつ催し、委員長職から開放される。

その後はどうしますか、と最後の質問。「やっぱりフリーになる。思い切り、本を読みたい。学生運動してたから、資本論など社会科学系の本に興味がある。買いためした本もあるし、じっくり読みたいな」。68歳。

文・写真　洞口和夫

神仏超え復興祈る

鶴岡八幡宮と奈良・東大寺

想定をはるかに超えた災害をもたらした東日本大震災で多くの命が失われた。いまも安否も分からない人が多くおり、避難所などで不自由な生活を余儀なくされている。

奈良の東大寺と鎌倉の鶴岡八幡宮の合同の祭事・法要が、6月12日夕方から鶴岡八幡宮舞殿で行われ、亡くなられた人たちの慰霊と早期の復興を祈願した。

8百年余の歴史的なつながりをもつ、鶴岡八幡宮と東大寺は治承4年（1180）平重衡による焼き討ちで、東大寺が大きな被害を受けたとき源頼朝公は、復興への援助を惜しまなかった。同八幡宮の別当を務めた僧が、東大寺の別当に就いた例もあり、以来、長い交流が続いている。

神職や僧職、巫女らによる復興への祈り、舞いなどが行われ、八幡宮の吉田茂穂宮司、東大寺の北河原公敬別当が、震災による犠牲者の慰霊、復興への祈りをささげた。

9月には東大寺でもとうした行事法要が予定されている。

マリンスポーツで交流

被災地福島の大学生らを招待

東日本大震災で被災した福島県の大学生5人が6月4、5両日、1泊2日のマリンスポーツ体験に招待され、「大磯の季節」前の逗子海岸で交流した＝写真。

マリンスポーツを楽しむ活動をしているNPO海岸クラブ（真鍋克昌理事長）が主催、リビエラ逗子マリーナ（渥美修一郎常務取締役）とビーチクラブ全国ネットワーク（井坂啓吾理事長）が共催した。

海岸クラブと同ネットワークは毎年夏、福島県相馬市北泉海岸で海を楽しむ交流を続けてきたが、3月11日の大震災以降、ほとんどの海岸が使用不能になった。こうした状況を福島県を訪れていた長嶋一由衆議員議員が知り、旧知の真鍋さんらに相談。宿泊は渥美さんが二つ返事で引き受け実現した。

初日の参加者は約百人。井坂理事長の基本レクチャーから始まり、ウインドサーフィン、シーカヤックなどを楽しんだ。

大学生らと参加した奥本英樹福島大学准教授は「声をかけていただき感謝しています。今度は心の奥にストレスをためている子どもたちを連れてきて放射能の心配がない湘南の海で思いっきり遊ばせたい」と挨拶した。（K）

被災者のため祈りの演奏

大仏殿で海外演奏家たちが奉納

まっすぐに大仏を見上げながら、祈るように演奏する人たち。

東日本大震災の被災者に祈りを捧げる演奏が6月2日の午前、高徳院の大仏殿に奉納された＝写真。

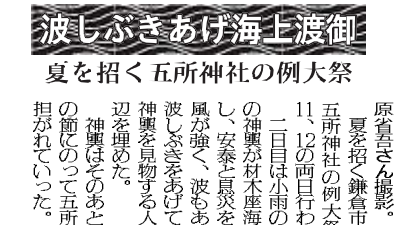
同日夕方、鎌倉芸術館で行われた「ソングス・オブ・ザ・ソウル（こころに響く魂のしらべ）」という題名のコンサートに先立ち、ヨーロッパ、アメリカ、アジアの約10カ国、5グループ・26人が色鮮やかな民族衣装のサリーなどをまとってチェロやピアノ、アカペラなどを静かに奏でた。観光客や修学旅行の生徒たちも足をとめて聴き入っていた。

この公演は世界の調和、愛などをテーマに2万曲以上の作詞作曲をし、8百回もの公演をした故シュリ・チンモイ氏の音楽と志を分かち合う音楽活動で、2008年にニューヨークで始められた。各国のプロ・アマチュアの音楽家たちが、世界各国で入場無料のコンサートを行っている。

日本で高円寺、鎌倉、京都の公演を終えたあと、11月までヨーロッパやアメリカなどを回るという。

波しぶきあげ海上渡御

夏を招く五所神社の例大祭



「どっこいこーりゃ」の掛け声とともにねじり鉢巻、ふんどし姿の人たちが神輿（みこし）を担ぎながら、海に入りみそぎを行う＝写真は松原省吾さん撮影。

夏を招く鎌倉市材木座の五所神社の例大祭が6月11、12の両日行われた。

二日目は小雨の中、2基の神輿が材木座海岸を渡御し、安泰と息災を祈った。風が強く、波もあったが、波しぶきをあげてせり合う神輿を見物する人たちが浜辺を埋めた。

神輿はそのあと、天王唄の節にのって五所神社まで担がれていった。

大人のための英会話教室
初心者から上級者まで、詳しい案内書をご用意してお待ちしています。
イングリッシュセミナー
毎月第3金曜日開催
（会員1，000円　一般1，300円）
多彩な外国人ゲストが、さまざまなテーマを英語でお話しします。
コミュニティ講座
技術が上達しながら、「豊かな心」も育ちます。
アートクラス（幼児～小学生）月謝6,405円
毎週火曜または木曜日15：30～18：00
毛筆・ペン習字（幼児～大人）月謝6,405円
毎週火曜日14：00～16：00
TEL0467（24）7859
鎌倉 YMCA
鎌倉市御成町13～33

八幡宮前・蒲焼専門店
うなぎ 茅木家
☎（22）1460

鉢の木
お弁当のお届けや出張料理もございます。
どうぞ、お気軽にご用命下さい。
本店22-8719　北鎌倉店・新館23-3723

♥お弁当配達します♥
毎日の食卓に、会合に、パーティに
お弁当、オードブル、サンドイッチ、お惣菜
安心　安全　愛情
●箸無しは、10円引きとなりますので、ご注文の際に、お申し出下さい。
★毎日変わる日替り弁当　Aランチ560円、Bランチ510円がお奨め。（午後1時まで）
鎌倉市材木座6-5-26
営業時間 7:30~18:30(木曜日/16時迄)
ご注文はこちら　TEL 0467-22-1188
手づくり弁当 パピー

迅速と、サービスと
東京陸運局認定・ニッサンサービス・J・A・F指定
㈲川島自動車整備工場
大町4－1－35（名越踏切手前）電話 0467(25)3223

お香 香炉 香道具 匂い袋 高級線香 念珠 他
鎌倉に蘇える伝統の香り
香司 鬼頭天薫堂 鎌倉
鎌倉市雪の下1-7-5 小町通り八幡宮寄り
TEL. 0467-22-1081（代）
http://www.tenkundo.co.jp/

yanaka かまくらカスター
鎌倉本店　鎌倉駅前本館　☎23・3851
逗子店　ルミネウィング（大船）店
横浜そごう店　藤沢小田急店